先物協会ニュース
JCFIAマンスリー

JCFIA
JAPAN COMMODITY FUTURES INDUSTRY ASSOCIATION
発行所 日本商品先物振興協会
〒103-0016
東京都中央区日本橋小網町9-9
☎(03)3664-5731 FAX(03)3664-5733
http://www.jcfia.gr.jp/

私の好きな一文字

翔

（中村光弘　福岡商品取引所理事長）

第3回通常総会　重要テーマを積極推進

すぐやるべきことをピックアップして ▽二家会長スピーチ△

先物協会は六月十四日、東京・日本橋蛎殻町のロイヤルパークホテルで第三回通常総会を開き（会員九十五社のうち代理、委任を含め八十六社出席）、平成十三年度の事業報告及び収支決算を承認するとともに、理事二十五名、監事四名、計二十九名の役員を決め、新体制をスタートさせた。二家勝明会長、佐藤陽紀副会長をはじめ役員全体が一丸となって二年目に挑む。

続投が決まった二家会長は業界振興に力を入れる決意を次のスピーチで表明した。

「なんとか、無事にこの一年を務めてきました。しかし、昨年は商取法制度五十周年記念式典この点を反省して、今年度は振興に取り組んでいきたいと思っています」と述べ、今年度の取組について次のように触れた。

「第一点は、平成十二年に策定した『二〇〇五年までの商品先物取引業の短中期ビジョン』の取組課題をできるところから段階的に実現していきたい。第二点は、先物業界の信頼性の確保、向上に係る諸問題に取り組みたい。第三点は、委や、税制要望などに事務方が手を取られ、本来の振興事業が遅れたことを大変申し訳なく思っております。託者税制で株式並みに税率を下げることや純損失の繰越控除ができるよう要望を続けていきたい」。

「すぐやらなければならない課題をピックアップして、積極的に振興策推進を図っていきたい。まだまだ至らない点がありますが、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします」。

日本橋蛎殻町・ロイヤルパークホテル

初のあっせん合意
外務員移動紛争で

先物協会は従業員等の移動に係る会員間紛争について、このほど初のあっせんを行い、合意が成立した。

当事者はオムニコ（伊藤壽章社長）と大平洋物産（出雲敏彦社長）で、あっせん委員は下山彌壽男理事と多々良義成理事。オムニコを退社して大平洋物産に入社している十四名（うち九名は外務員登録済みで五名は登録申請保留中）について、当事者間で話し合いがつかず、あっせんの申し出があった。

違約の場合は監査要請

合意事項は次の通り。

一、大平洋物産及び移動した従業員十四名は、同社入社日から二年間（当該従業員十四名とオムニコとの間で締結されていた競業避止契約期間と同期間）は、オムニコに所属する社員及びオムニコに係る委託者に対し、一切の引抜き行為及び新規口座開設の勧誘行為を行わないことを確約する。

二、大平洋物産は、今後オムニコの了解なく、オムニコに在職していた役職員を採用しないことを約束する。

三、オムニコは、本合意成立を受けて、大平洋物産が外務員未登録者五名に係る外務員申請手続きを行うことについて異議を申し立てないこととする。

四、大平洋物産は、会員間の外務員等の移動が委託者保護のみならず取引員経営の上でも重要な問題であるとして日商協及び本会において議論された事実を再認識し、今後、オムニコのみならず商品取引員に在職していた元外務員等従業員を採用する場合には、平成十三年十一月に日商協及び本会が合同で開催した会員懇談会における、前雇主に照会し了解を得るとの合意内容を遵守する。

五、あっせん委員は、大平洋物産が一、の約束を違えた場合には、あっせん委員会の名において、日商協に対し、新規委託者に係る照合等のための同社に対する監査を要請する。

日本商品先物振興協会役員名簿
（平成14年6月14日）

会長	二家	勝明	日本ユニコム㈱会長
副会長	佐藤	陽紀	㈱ハーベストフューチャーズ社長
常務理事	秋田	治	
理事	石川	清助	洸陽フューチャーズ㈱会長
〃	伊藤	進	㈱コムテックス社長
〃	太田	幸作	日進貿易㈱社長
〃	岡地	和道	岡地㈱社長
〃	岡本	安明	岡安商事㈱社長
〃	加藤	雅一	岡藤商事㈱社長
〃	川路	耕一	三貴商事㈱会長
〃	坂井	康明	フジフューチャーズ㈱社長
〃	島津	嘉弘	新日本商品㈱社長
〃	清水	清	カネツ商事㈱社長
〃	下山彌壽男		㈱サンライズ貿易会長
〃	白井	憲治	エース交易㈱社長
〃	多々良義成		豊商事㈱会長
〃	戸舘	勇幸	オリオン交易㈱社長
〃	中島	秀男	第一商品㈱副会長
〃	中西	勝也	太陽ゼネラル㈱社長（新任）
〃	西田	昭博	タイコム証券㈱社長
〃	藤田	庸右	フジチュー㈱会長
〃	細金	鉚生	㈱小林洋行会長
〃	宮本	勇	㈱アサヒトラスト社長
〃	三好	完治	三井物産フューチャーズ㈱社長
〃	村橋	實	丸村㈱社長
			以上25名
監事	伊藤	壽章	オムニコ㈱社長（新任）
〃	伊藤	博幸	北辰商品㈱社長（新任）
〃	鈴木	敏夫	明治物産㈱社長
〃	松本	義博	エグチフューチャーズ㈱社長
			以上4名

FUTURES PLAZA

第一商品・経営企画室
課長代理　渡辺 誠一

力を結集、チャンス掴もう

「どちらにお勤めですか？」と聞かれ、「先物取引会社です」と答えると、「何をしている会社ですか？」とか、「（いい噂を聞きませんが）大丈夫ですか？」といわれることが多い。つくづくこの業界に対する世間の認識の低さを実感します。業界団体が様々な広報活動をしていますが、残念ながら世間への浸透度は乏しいといわざるを得ないのが現状です。

12年前、私は社内留学研修制度により米国シカゴに行きました。現地の方に仕事について聞かれて「商品取引員」と答えると、「立派な仕事だね」などといわれ、やはり先物先進国では先物取引が一般に認知されており、日本も早くそうなればと思いました。帰国直後には商品ファンド法が制定され、いよいよ商品先物取引が一般的な投資手段になると期待しました。

しかし、現状を見ると疑問です。取引参加者のほとんどが一般投資家ということだけでは、説得力に欠けます取引が正しく理解され、生活に必要なものであると認められ、少なくとも株式と同列の資産運用手段として利用されなければ、一般的な投資手段になったといえないでしょう。

今年4月からペイオフ解禁が始まり、金地金商の店頭では資産保全手段として金地金を買い求める列ができ、マスコミも連日のようにペイオフ対策の投資先として金地金を取り上げました。一方、東京工業品取引所でも金先物取引が活況を呈しましたが、どれだけの人が先物取引を利用して金地金を入手できると知っているでしょうか。今のままでは資産保全のための金へのニーズに応えるのは地金商になってしまい、商品取引員の出番はなかなか回ってきません。

今、商品先物取引を一般的なものにする大きなチャンスが来ています。そのためには社会的な「信用」の確立と、業界ならではの「サービス」の提供を業界が一丸となって強力に推進しなければなりません。皆の力を結集して、このチャンスを掴みましょう。

プロフィール

1987年 3月 東洋大学文学部卒業
　　4月 第一商品株式会社入社
　　5月 本店フューチャーズ24配属
1990年 4月 企画部へ異動
　　5月 社内留学研修制度で
～91年 3月 米・シカゴ留学
1995年10月 営業企画部へ異動
2000年 1月 経営企画室へ異動
　　（現在に至る）
2001年 4月 東京商品取引員調査部会
　　会長就任（現在に至る）

2年間で10倍に
外国通貨証拠金取引

商品取引員が兼業業務として主務大臣に届け出るだけで営業できる外国通貨証拠金取引（FX取引）の拡大が目立っている。

先物協会のアンケート調査によると、回答のあった三十八社の今年三月末現在の証拠金預り額は五百九億円と二年間で九・四倍に急増している。顧客口座数は一万六千口座を超え、十一・六倍に伸び、手数料収入は二年前の九・九倍に達している。

こうした急成長の中にあって、先物協会では六月末、FX取引を扱っている取引員の懇談会を開催し、FX取引の拡大・発展に向けて情報開示のあり方などについて意見交換した。

FX取引に係る実態調査（3月末現在、38社、口座数除き単位100万円）

1	預り額（証拠金ベース）	合計	50,964	平均 134.16
2	顧客口座数	〃	16,521	〃 434.76
3	平成14年3月（1カ月間）のFX取引に係る手数料収入	〃	553	〃 14.56
4	平成14年3月（1カ月間）の総手数料収入		19,475	〃 512.50
	（総手数料に占めるFX取引手数料の割合			2.84%）

先物春秋

証券ビックバンの先頭を突っ走る松井証券が、金の保証金取引への参入を表明して、先物業界に衝撃が走った。金の唯一の公設市場たる東京工業品取引所では早速、松井証券に説明を求めた。先物取引に似て非なること、東工取の価格は参考にとどめること等、松井側の説明に東工取は「しばらく静観」を決めた▼今回の〝事件〟で、証券界をゆるがした天一坊事件が思い出される。大正八年（一九一九）、「天一坊」の異名を持つ大相場師松谷元三郎が鎧橋のたもとで私設の取引所をオープンした。東京株式取引所（東株、現東証）と目と鼻の先にその名も「東京証券交換所」を開設したのだ。東株より手数料も証拠金も安く、松谷の取引所は大賑わい▼東株を率いる郷誠之助理事長は、取引所法違反だから潰してしまえと息巻くが、法律の専門家を総動員しての松谷の出陣であってみれば、ひと筋なわではいかない。最終的には、松谷の言い分を呑んで、両取引所は合併、一件落着となる。松井証券の松井道夫社長を「平成の天一坊」と呼ぶつもりはないが、カリスマ性に富む異色のチャレンジャーとして、つとに勇名を馳せているひと▼七、八年前のことだが、当協会が旧日商協時代、セミナーの講師として出演、「証券ビックバンで手数料は半額になる。当社が下げるからです。野村だって追従せざるを得ないでしょう」と大見得を切り、出席者のド肝を抜いた。松井証券の今回の金取引進出は商品ビッグバンを控えた先物業界への大きな警鐘である。（泉）